

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	74	学校名	仙台市立郡山小学校	校長名	橋本 顕嗣
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

郡山地域の自然を生かした環境・エコ活動



2 取組の紹介

給食での取り組み

単独調理校ということで、野菜などの食材を地元郡山の農家から仕入れてそれを紹介し、感謝の心を育む取り組みを行っています。

1年生・2年生

1年生はアサガオ、2年生はミニトマトを栽培したり季節ごとに自然と触れ合ったりして、環境について関心を持たせ、自然を大切に、その恵みに感謝しようとする気持ちが養われました。

3年生

学年園で大豆を栽培しました。今年は数年ぶりに収穫した大豆で豆腐作りも行いました。栽培活動から調理まで行うことで、食の安全や地産地消を考える良い機会となりました。

4年生

地域の地形を調べ、防災マップを作成しながら、一方で、作物を育てるには、地域の環境が関係していること、水資源を守ることの大切さについて考えることができました。

5年生

地域の農家の方から水田をお借りし、4月からもち米作りに取り組んでいます。農家の方に無農薬での栽培の手ほどきを受けながら、定期的に草取りや手入れを継続して行い、たくさんのもち米を収穫することができました。また、「郡山フードプラン」として、給食や家庭での残食を調べました。食品ロスを減らすにはどうしたらよいかを考え、全校に呼び掛けるポスターやおたよりを作りました。



6年生

地域の農家からお借りした畑で有機野菜作りに取り組みました。無農薬の野菜作りは手間がかかることを実感していました。また、作物を栽培することは、自然環境が大きく影響することにも気付いていました。収穫した野菜を販売し、地域の方々との交流の一助としました。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

- 給食時に、残菜が出ないように量を調節して配食したり、「今日は〇〇さんの畑の白菜なんだって。たくさん食べよう」と話したりする様子が見られました。
- 当校は自然と触れ合う機会が多く、「環境を大切に守ろう」とする意識づけを図るために、学年の実態に合わせて多くの体験活動を取り入れています。高学年で食や環境課題について調べ活動をした際には、今までの体験活動を通して学んだ経験から、さらに自分の興味を持った環境課題について調べるなど、どの児童も課題解決に向けてより深く考える意欲が高まっています。

	米	山	水	木	
米 50kg					
残食	7431.32g	172kg	15.07kg	20kg	975kg
一人あたり	毎食約11.5g	約1.5g	5g	74g	73g
メニュー	米 50kg 100% 無農薬 有機栽培 米 50kg 100% 無農薬 有機栽培	山 100% 無農薬 有機栽培 山 100% 無農薬 有機栽培	水 100% 無農薬 有機栽培 水 100% 無農薬 有機栽培	木 100% 無農薬 有機栽培 木 100% 無農薬 有機栽培	100% 無農薬 有機栽培